動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人東京科学大学

2026 年 10 月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程の整備状況

１）評価結果 ☑　基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐　機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐　機関内規程を整備していない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則 ・東京科学大学動物実験等湯島地区管理内規 ・東京科学大学動物実験大岡山地区審査委員会内規
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則等が定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

２．動物実験委員会の設置状況

１）評価結果 ☑　基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐　動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐　動物実験委員会を設置していない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則 ・東京科学大学動物実験等湯島地区管理内規 ・東京科学大学動物実験大岡山地区審査委員会内規 ・国立大学法人東京科学大学動物実験委員会名簿
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 飼養保管基準及び基本指針に則して、中央並びに湯島地区及び大岡山地区動物実験委員会が設置されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ☑　基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。

□　動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制を定めていない。
2）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則 ・動物実験計画書関係様式 ・動物実験計画変更申請書関係様式 ・動物実験（終了・中止）および結果報告書関係様式 ・飼養保管施設（設置・変更）申請書関係様式 ・実験室（設置・変更）申請書関係様式 ・施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届出書関係様式 ・動物実験実施者変更届出書関係様式
3）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 基本指針に則して、動物実験の実施に必要な規程等及び各種申請書様式が整備され、動物実験の実施体制が適正に定められている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1）評価結果 ☑　基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □　該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則 ・国立大学法人東京科学大学遺伝子組換え生物等の実験等安全管理規則 ・国立大学法人東京科学大学微生物等安全管理規則 ・東京科学大学化学物質等管理規則 ・東京科学大学毒物及び劇物管理規則 ・東京科学大学放射線障害予防通則
3）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施に関連する様式や手続きを整備している。 なお、動物実験計画書に、遺伝子組換え生物等実験計画書及び微生物等保管・取扱届出書に関する承認状況を記載する項目があり、それらの実験を行う場合には関連する計画書が承認されなければ実験が行えない体制が執られている。
4）改善の方針、達成予定時期

該当せず。

５．実験動物の飼養保管の体制

１）評価結果

☑ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。

☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 飼養保管施設を設置していない。

２）自己点検の対象とした資料

・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則

・各種申請書（飼養保管施設（設置・変更)、実験室（設置・変更)、廃止届）

・各種利用マニュアル（飼養保管施設、動物実験室）

３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、各飼養保管施設には飼養保管マニュアルが定められている。

４）改善の方針、達成予定時期

該当せず。

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

特になし

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会の活動状況

１）評価結果 ☑　基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐　おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則 ・東京科学大学動物実験等湯島地区管理内規 ・東京科学大学動物実験大岡山地区審査委員会内規 ・各地区動物実験委員会議事要録等
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則に基づき、適正な活動を実施している。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ☐　基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☑　おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書（新規、更新、変更） ・動物実験（終了・中止）および結果報告書・動物実験報告書 ・動物実験の自己点検票 ・動物実験の実績報告書
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各地区において動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ている。また、動物実験（終了・中止）および結果報告書・動物実験報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を確認している。 大岡山地区では、使用動物（中大動物）の継続使用にともなう変更手続きに関し、「動物実験計画変更申請書」に記載すべき内容が「動物実験（終了・中止）および結果報告書」に記載されており、手続き上の混乱が生じた事例が確認されたため、手続きに不備があった研究者に対しては、経緯と再発防止策の提出を求め、改善に努めた。なお、現在、大岡山地区における中大動物の実験施設は廃止されている。

４）改善の方針、達成予定時期

今後は、適正な申請手続きについて研究者への周知徹底を、教育訓練を通して継続する。

３．安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

１）評価結果

☑ 該当する動物実験を適正に実施している。

☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 該当する動物実験を行っていない。

２）自己点検の対象とした資料

・動物実験計画書（新規、更新、変更、終了・中止）
・動物実験の自己点検票
・遺伝子組換え実験一覧表
・微生物等使用実験一覧表

３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

本学の規則に則した実験が実施され、適切に対応できている。

なお、動物実験施設のほか学内の動物実験室において、遺伝子組換え生物等や微生物等を用いる実験を実施する場合には、遺伝子組換え生物等実験等安全管理地区審査委員会や微生物等安全管理地区審査委員会等との連携のもと、法令に適合した拡散防止措置が取られており、必要な安全設備は整備されていることを確認している。

４）改善の方針、達成予定時期

該当せず。

４．実験動物の飼養保管状況

１）評価結果

☐ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。

☑ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 飼養保管施設を設置していない。

２）自己点検の対象とした資料

・国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則
・東京科学大学における実験動物の飼養及び保管に関する基本指針
・飼養保管施設・動物実験室マニュアル
・緊急時対応マニュアル
・実験動物飼養保管状況の自己点検票
・微生物検査記録

３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各飼養保管施設において、実験動物が適切に飼養保管されていた。法令で求められている飼養管理の適正化を維持し、動物実験を安全かつ、利便性よく行うために、「飼育、繁殖」と「実験」を区別するため、バイオサイエンスセンター動物実験施設（湯島地区）及びバイオサイエンスセンターバイオサイエンス統合支援施設（大岡山地区）へのマウス・ラットの飼養保管施設の集約化をすすめており、大岡山地区では完了しているが、湯島地区では一部完了していない。
４）改善の方針、達成予定時期 湯島地区では、マウス・ラットの分野飼養保管施設については、バイオサイエンスセンター動物実験施設への集約化を進めており、2026 年度の完了を予定している。

５．施設等の維持管理の状況

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
２）自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設・実験室（設置・変更）申請書 ・飼養保管施設・実験室　廃止届出書 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各施設等は適正に維持管理されていた。 動物実験施設・各飼養保管施設では定期的に環境検査ならびに飼育動物の微生物検査を実施し、飼育室内の整備、微生物汚染の有無等をモニターしている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

６．教育訓練の実施状況

１）評価結果 ☐ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☑ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・教育訓練資料 ・教育訓練の実施記録（教育訓練開催記録、受講者名簿）
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認したが、大学統合後も全学共通の講習会資料を利用した教育訓練とはなっていない。
４）改善の方針、達成予定時期 大学統合に伴い、教育体制の共通化のために全学共通の講習会資料を 2025 年に作成した。全学共通の教育訓練は 2026 年 4 月より東京科学大学全体で統一教材を利用した共通化した教育訓練を行う。

７．自己点検・評価、情報公開

１）評価結果 ☑ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・東京科学大学動物実験に関する自己点検・評価報告書、「東京科学大学における動物実験に関する情報」ホームページ（その他の情報公開	Science Tokyo - 東京科学大学）
３）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、本学における動物実験に関する情報を公開している。また、2027 年度に外部検証の受審を予定している。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

８．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

湯島地区では、中大動物の実験について、実験実施期間を単年度とし、新規申請及び継続申請時に動物実験委員会が実験責任者に対しヒアリングを行っている。 大岡山地区では、2025 年度末に中大動物の実験施設が廃止され、現時点では中大動物の実験は行われていない。